

siroca

マイコン電気圧力鍋 クックマイスター SPC-111

取扱説明書

保証書つき



このたびは siroca マイコン電気圧力鍋 クックマイスター SPC-111 をご購入いただき、まことにありがとうございます。

- この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書を必ずお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、必ず保管してお使いください。

圧力鍋は加熱されると内部が極めて高温・高圧になります。取り扱いを誤ると、やけどなどの危険がありますので、本書に記載の注意事項を必ずお守りください。

この製品は家庭用です。
業務用にはお使いにならない
でください。

日本国内専用
USE ONLY IN JAPAN

※ この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

お
使
い
に
な
る
前
に

安全上のご注意 2

使用上のお願い 4

調理上の注意 4

本製品でできること 5

各部のなまえ 6

液晶ディスプレイの表示 8

使
い
か
た

ご使用の前に 9

使いかた 12

ご
愛
用
の
手
引
き

お手入れ 18

故障かなと思ったら 20

仕様 21

部品・消耗品 21

アフターサービス 22

お客様相談窓口 22

保証書 24

警告

◆ 電源コード・電源プラグについて ◆



禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む

など



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く

やけど・感電・けがの原因になります。

安全上の注意

注意

◆ 使用上の注意事項 ◆



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない

転倒によるけが・故障や火災の原因になります。以下のような物の上では使わないでください。

毛足の長いじゅうたん、ふとん、プラスチック樹脂 など



禁止

壁や家具の近くで使わない

蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。



禁止

ストーブやガスコンロなど熱源・火気のそばで使わない

変形・故障の原因になります。



水ぬれ禁止

水のかかりやすい場所や、本体の底部がぬれるような場所に置いて使わない

ショート・感電・故障の原因になります。



電源コードは必ず付属のものを使用する
故障・発火の原因になります。



接触禁止

使用中や使用後しばらくは、高温部に直接触れない

高温のため、やけどの原因になります。必ずミトンやぬれふきんを使用してください。



禁止

ノズルや取っ手にガタつきがある場合は使用しない

けがの原因になります。



禁止

多量の油・重曹などの熱に反応して発泡するものは使用しない

やけど・故障の原因になります。



禁止

空だきをしない

変形・変色の原因になります。



禁止

市販のタイマー機器を接続して使用しない
故障の原因となります。



お手入れは冷えてから行う

高温部に触れ、やけどの原因になります。



プラグを抜く

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く

使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



禁止

付属品を電子レンジ・オーブン・オーブンレンジなどで使用しない

破損・変形の原因になります。



禁止

金属製のへらなどは使用しない

内なべに傷が付く原因になります。



禁止

内ふたを取りつけないまま使用しない

故障の原因になります。



ふたを開ける場合は、圧力表示ピンが下がった後、圧力切替弁を回して蒸気を完全に排出してから開ける

やけど・けがの原因になります。



禁止

内なべを直火にかけない

変形・変色の原因になります。



禁止

パッキンなどは付属品以外のものを使用しない

破損・故障の原因になります。



ふたを確実に閉める

ふたの取り付けが不十分だと、やけど・けがの原因になります。



調理量の最大量と最小量を必ず守る

やけど・けがの原因になります。

使用上のお願い

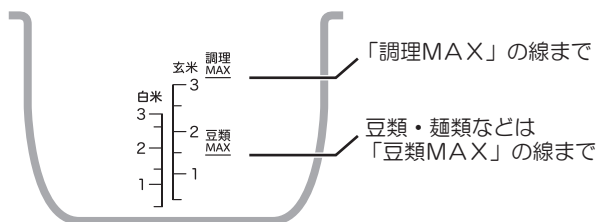


※ 圧力鍋は加熱されると内部が極めて高温・高圧になります。取り扱いを誤ると、やけどなどの危険がありますので、本書に記載の注意事項を必ずお守りください。

- 火気の近く、可燃物の近く、水のかかる場所には設置しないでください。また、棚などで使う場合は、蒸気がこもらないようにしてください。 **故障の原因**
- 直射日光の当たるところでは使用しないでください。 **変色の原因**
- 調理前に、本体にしっかりと付属品が取り付けられていること、本体と内なべの間にガタつきがないことを確認してください。 **故障の原因**
- 内なべや本体内部、内ふたなどに、食品かすなどの異物を付けたまま使用しないでください。 **故障の原因**
⇒ 異物の取り除きかたは、18～19ページの「お手入れ」を参照してください。
- ふたのノズルが詰まっていないことを確認してから使用してください。 **けが・やけどの原因**
⇒ ノズルの確認方法については、10ページの「ふたの組み立てと確認」を参照してください。
- 加圧調理中や、加圧調理の直後は、振動などで蒸気が噴き出すおそれがあるため移動させないでください。
けが・やけどの原因
- 調理後は、内部の圧力が残っている状態で、絶対にふたを無理に開けないでください。 **けが・やけどの原因**
- 調理中、本体にふきんなどをかけたままにしないでください。 **変色・変形の原因**
- 内なべは傷をつけたり、変形させたりしないでください。 **故障の原因**

調理上の注意

- 内なべの「調理 MAX」の線以上に食材を入れて使わないでください。豆類や麺類など調理によって分量が増えるものは、内なべの「豆類 MAX」の線以上に入れないでください。 **けが・やけどの原因**



- 内なべと本体の間に水を入れないでください。 **故障の原因**
- 内なべのコーティングを傷つけないため、米や豆など、かたい食材を内なべで洗わないでください。
また、金属製のヘラやおたまなどは使用しないでください。 **焦げつきの原因**
- 内なべのコーティングを傷つけないため、落しふたは付属のものを使用してください。 **焦げつきの原因**
- カレーやシチューのルー、ジャムなど、粘りけのあるものを入れて加圧調理しないでください。
けが・やけどの原因
- 重曹など発泡するものや、多量の油を入れて調理しないでください。 **けが・やけどの原因**
- おかゆを調理する場合、青野菜などの具は加圧調理後に入れてください。 **故障の原因**

本製品でできること

8 種の便利な基本メニュー

メニューを選ぶだけで、あとはおまかせで加圧調理ができます。

- 白米
- 玄米
- おかゆ
- おこわ
- 野菜
- 魚介類
- 肉類
- 豆類

※ 調理方法について、詳細は付属のレシピブックをご覧ください。

その他の便利な機能

- お好みモード
加圧時間をお好みで設定できます。
- スロークッカーモード
加圧せずに調理を行います。
沸騰させずにじっくりと調理することで、煮崩れ
せずに食材をやわらかく調理することができます。
冷めてしまった料理を再加熱する際にも便利
です。
- 保温機能
最大 24 時間まで保温できます。
- タイマー機能
入タイマー（予約炊飯）を最大 24 時間（10 分刻み）
で設定可能です。生活シーンに合わせてタイマー
設定できます。
※ 入タイマー（予約炊飯）は、白米・玄米以外の
調理には使用しないでください。

調理時間の目安

電気圧力鍋では「加熱」「加圧」「保温」の 3 つの工程で調理を行います。



※ お好みモードは保温になりません。

※ 加圧調理後は、圧力表示ピンが下がってからふたを開けてください。

- 加熱開始後、本体内部が一定の圧力に達し、維持されている状態を加圧状態といいます。加圧状態に達するまでに必要な時間は材料の種類や量に応じて変化します。
- メニューごとに加圧時間が予め設定されていますが、時間 + (▲) ボタンや時間 - (▼) ボタンで加圧時間を 1 分単位で調節することができます。加圧時間は、材料の種類・量・大きさに応じて調節してください。メニューごとの加圧時間の初期値と設定可能時間は下記の通りです。

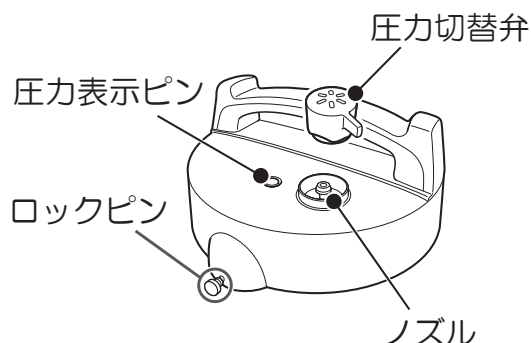
調理モード	初期値（設定可能時間）	保温時間	調理モード	初期値（設定可能時間）	保温時間
白米	8 分（3 ～ 13 分）	12 時間	野菜	8 分（3 ～ 13 分）	1 時間
玄米	60 分（55 ～ 65 分）		魚介類	13 分（8 ～ 18 分）	
おかゆ	18 分（13 ～ 23 分）		肉類	15 分（10 ～ 20 分）	
おこわ	10 分（5 ～ 15 分）		豆類	18 分（13 ～ 23 分）	

各部のなまえ

正面

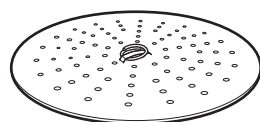


背面

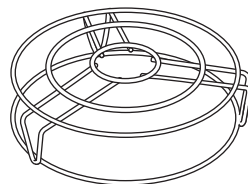


付属品

落しふた



蒸し台



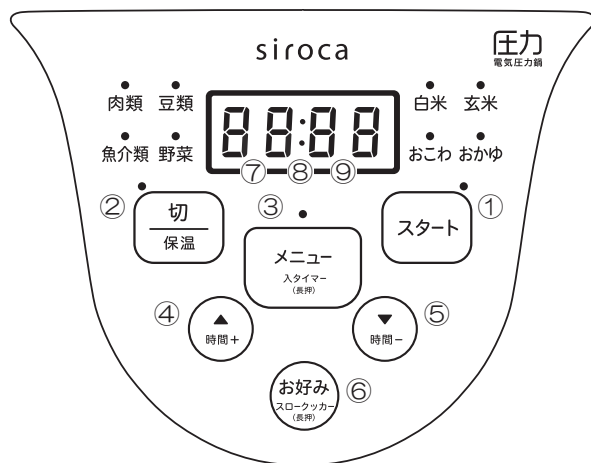
レシピブック



- ※ 付属の落しふたは、煮物料理に使用します。食材の上に、直接落しふたをのせてください。
- ※ 付属の蒸し台は、プリンや茶碗蒸しなどの蒸し料理に使用します。水を入れた内なべに蒸し台をセットし、蒸し台の上に調理物をのせてください。(調理方法について、詳細は付属のレシピブックをご覧ください。)
- ※ 蒸し台を使用する際は、必ず内なべに水を入れてください。空だきはしないでください。
- ※ 落しふたと蒸し台は、イラストの向きで置いてください。
(落しふたはリングのついている面が上、蒸し台はリングが3重になっている面が上です。)

各部のなまえ

操作パネル



ボタン	機能説明
① スタートボタン 	● 運転をスタートするときに押します。
② 切 / 保温ボタン 	● 操作設定の取り消しや作動中の機能を中止するときと、保温を入 / 切るときに押します。
③ メニューボタン 	● メニューを選択するときに押します。 押すごとに、「白米」→「玄米」→「おかゆ」→「おこわ」→「野菜」→「魚介類」→「肉類」→「豆類」→「白米」→…の順に切り替わります。 ● 長押しすると入タイマー（予約炊飯）を設定できます。
④ 時間 + (▲) ボタン ⑤ 時間 - (▲) ボタン 	● 加圧・加熱時間やタイマー時間を調節するときに押します。 : 押すごとに、時間が進みます。 : 押すごとに、時間が戻ります。 ※ 各モードの時間設定については、8 ページの「メニュー選択・調理モード設定中の表示」を参照してください。
⑥ お好みボタン 	● 加圧時間を自由に設定するときに押します。（お好みモード） ● 長押しするとスロークッカーモードに設定できます。
液晶ディスプレイ 	⑦ 調理モード（加圧調理、スロークッカーモード）や、調理の工程（加圧・加熱）を表示します。 ⑧ 中央の「:」は、加圧や保温、入タイマー（予約炊飯）の動作中に点滅します。 ⑨ 設定時間や、経過時間を表示します。 ※ 保温中や入タイマー（予約炊飯）運転中は、「00:05」のように、保温の経過時間や、入タイマー（予約炊飯）の残り時間が表示されます。

液晶ディスプレイの表示

メニュー選択・調理モード設定中の表示

メニュー選択モード

メニュー選択時は、「P XX」と表示されます。
XXの部分には加圧時間が表示されます。
加圧時間は1分単位で設定できます。(設定範囲はメニューにより異なります。)

P08

スロークッカーモード

スロークッカーモード選択時は、「S XX」と表示されます。
XXの部分には加熱時間が表示されます。
加熱時間は1時間単位で設定できます(最大24時間)。

S06

お好みモード

お好みモード選択時は、「P XX」と表示されます。
XXの部分には加圧時間が表示されます。
加圧時間は1分単位で設定できます(最大60分)。

P01

運転中の表示

スタンバイモード

電源接続直後や調理終了後は、スタンバイモードとなり、「0000」と表示されます。

0000

加熱中

加熱中は、ディスプレイ左側の表示が回転します。

7P08

加圧中

加圧中は、「:」が点滅し、残りの加圧時間が表示されます。

P:08 または 7P08

※ 残りの加圧時間が、8分の場合の表示です。

保温中

保温中は、「:」が点滅し、保温開始からの経過時間が表示されます。

00:05

入タイマー（予約炊飯）運転中

入タイマー（予約炊飯）の運転中は、「:」が点滅し、調理開始までの残り時間が表示されます。

07:30

スロークッカーモード運転中

スロークッカーモードの運転中は、「:」が点滅し、残りの加熱時間が表示されます。

5:06 または 7P06

※ 残りの加熱時間が、6時間の場合の表示です。



残りの加熱時間が1時間以下になると、時間の表示が分単位に変わります。

50:59

※ 残りの加熱時間が、59分の場合の表示です。

ご使用の前に

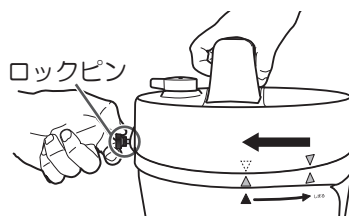
本製品をはじめてお使いになる場合、またはしばらくお使いになっていなかった場合は、本体内部にほこりやごみなどが付着している可能性があります。18～19ページの「お手入れ」を参照して各部を洗浄してからお使いください。洗浄後は、よく乾かしてからご使用ください。

ふたの開けかた、閉めかた

開けかた

ロックピンを引っ張りながら、図の方向に本体側面の「▲」まで回します。

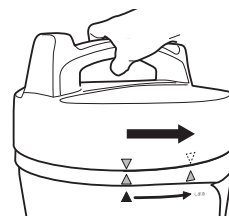
※ 調理後にふたを開ける場合は、ふたの高温部（ロックピンや圧力切替弁、圧力表示ピン、内ふたなど）や、調理物から出てくる蒸気に素手で触れないように、必ずミトンを使用してください。



閉めかた

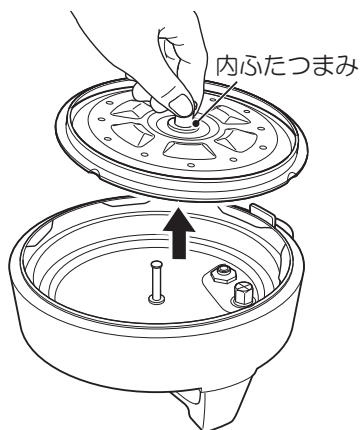
本体側面の「▲」とふたの「▼」を合わせてふたをはめ込み、図の方向に「しまる」の位置まで回します。

※ “カチャ”と音がし、ロックピンが出て戻るのを確認してください。

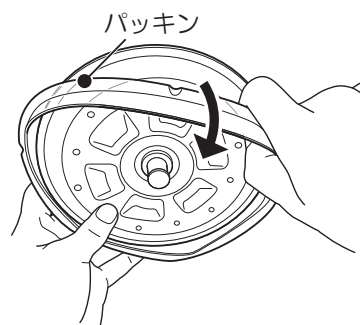


ふたの分解

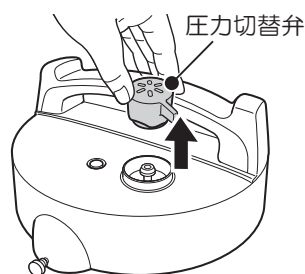
- ① 中央部の内ふたつまみを持って、ふたから内ふたを取りはずします。



- ② 内ふたの周囲にあるパッキンを取りはずします。



- ③ 圧力切替弁をふたから引き抜きます。
※ 引き抜きにくいときは、ふたを押さえながら圧力切替弁を引き抜いてください。



ふたの組み立てと確認

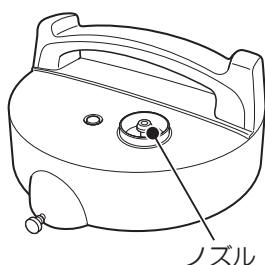
① 圧力表示ピンが動くか確認します。

※ ふたの内側から、圧力表示ピンをつまんで上下に動くことを確認してください。確認時、シリコンゴムに無理な力を加えないように注意してください。



② 圧力切替弁をふたにはめ込みます。

※ はじめに、つまようじなどをノズルに差し込み、ノズルが詰まっていないことを確認してください。ノズルが詰まっていると圧力調整ができず、蒸気や調理物が噴出して、けが、やけどの原因になります。



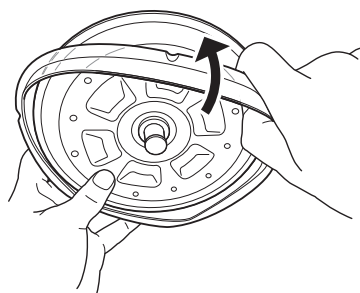
※ 圧力切替弁を強く押しはめ込んでください。



※ 圧力切替弁をはめ込んだ後、ふたを逆さにして圧力切替弁が落ちないことを確認してください。

③ 内ふたの周囲にパッキンを取りつけます。

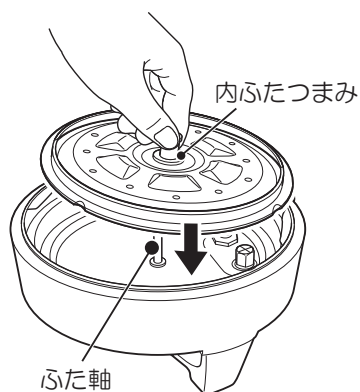
※ パッキンはしっかりとはめ込んでください。



④ 内ふたをふたにしっかりと取りつけます。

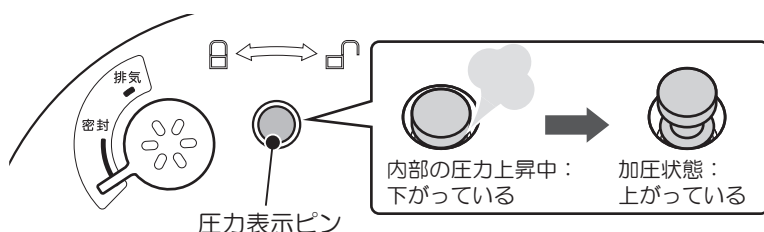
※ 内ふたつまみが外側になるように取りつけてください。

※ 内ふたつまみにふた軸をしっかりと差し込みます。その後、内ふたが落ちないことを確認してください。



圧力表示ピンについて

調理開始後、内部の圧力が上昇するとピンの位置から蒸気が噴出します。内部の圧力が上昇するにつれてピンが上がり、加圧状態に達するとピンが上がりきって蒸気の噴出も停止します。



※ 圧力表示ピンの位置から噴出される蒸気に注意してください。やけどの原因になります。

圧力切替弁について

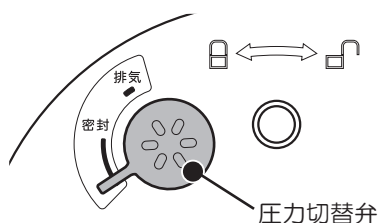
圧力切替弁には「密封」と「排気」の2つの機能があります。



※ 加圧調理中や、加圧調理の直後は、圧力切替弁には触れないでください。けがや、やけどの原因になります。

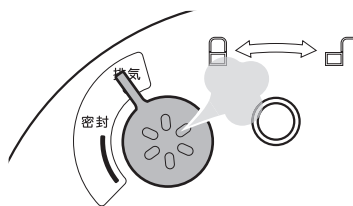
密封

内部の圧力を一定に保ちます。調理開始時には必ず「密封」の位置に合わせます。



排気

スロークッカーモードで加熱調理をする場合は、圧力切替弁を「排気」の位置に合わせます。



※ 加熱調理中は、圧力切替弁から排出される蒸気に注意してください。



※ 加圧調理中や、加圧調理の直後は、絶対に圧力切替弁を「排気」にしないでください。
高温の蒸気が吹き出し、けが、やけどの原因になります。

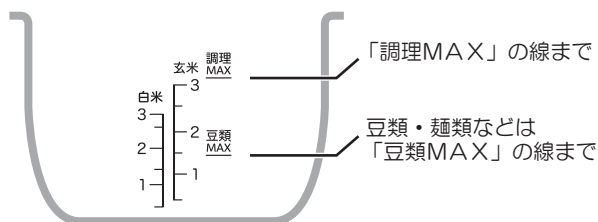
使いかた

1 材料を内なべに入れ、本体にセットする

※ 調理方法について、詳細は付属のレシピブックをご覧ください。



※ 内なべ外側の水気を拭き取ってから、セットしてください。
※ 内なべの「調理 MAX」の線以上に食材を入れて使わないでください。豆類や麺類など調理によって分量が増えるものは、内なべの「豆類 MAX」の線以上に入れないでください。



※ 内なべが傾いていないか、本体と内なべの間に食品かすなどの異物が挟まっていないか必ず確認してください。



※ カレーやシチューのルー、ジャムなど、粘りけのあるものは入れないでください。加圧調理中に、ノズルにルーなどが詰まり、圧力調整ができなくなる可能性があります。

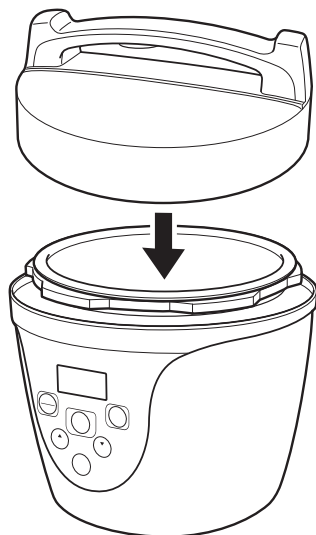
2 ふたが正しく組み立てられているか確認し、ふたを閉める



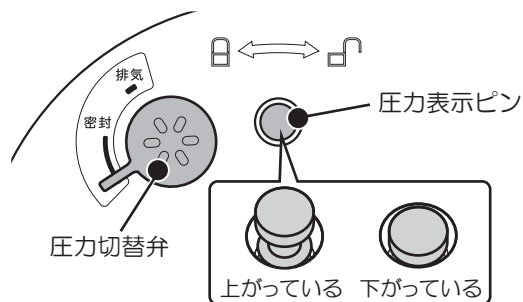
※ 10 ページの「ふたの組み立てと確認」を参照し、次の点を必ず確認してください。

- 内ふたにパッキンがしっかりと取り付けられていること
- ノズルが目詰まりしていないこと
- 圧力切替弁がふたにしっかりと取り付けられていること

⇒ ふたの閉め方については、9 ページの「ふたの開けかた、閉めかた」を参照してください。



3 圧力切替弁を「密封」の位置にセットし、圧力表示ピンが下がっていることを確認する

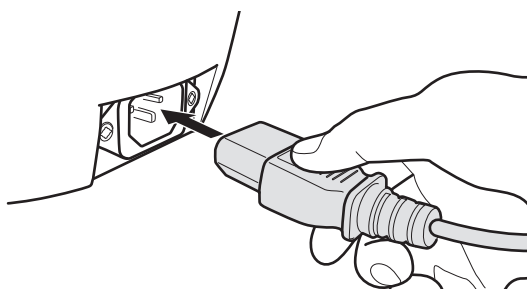


4 電源コードの本体側プラグを本体に差し込み、電源プラグをコンセントに差し込む

“ピッ”という音がします。



※ 定格 15A・交流 100V のコンセントを単独で使用してください。他の機器と併用すると、発熱による火災・故障の原因になります。



5 メニュー 入タイマー (長押) を押して、メニューを選ぶ

メニューボタンを押すたびに、図の順にメニューが切り替わり、選択されているメニューのランプが点灯します。

時間 + (▲) ボタンや時間 - (▼) ボタンを押して加圧時間を調節することもできます。

⇒ 加圧時間の調節については、5 ページの「調理時間の目安」を参照してください。

※ 約 20 秒間なにも操作しないと、選択したメニューが取り消されてスタンバイモードに戻ります。その場合は、再度メニューボタンを押して、操作をやり直してください。



6 スタート を押して、調理を開始する

“ピッ”という音がして、スタートボタン右上のランプが点灯し、運転が開始します。

加圧状態に達すると、ディスプレイ右側に表示されている残りの加圧時間が減っていきます。

加圧調理が完了すると“ピッピッピッピッピッ”という音がして、スタートボタン右上のランプが消灯し、自動的に保温に切り替わります。

保温中は、切 / 保温ボタン左上のランプが点灯します。
⇒ 保温時間は、メニューにより異なります。5 ページの「調理時間の目安」を参照してください。

⇒ 保温機能については、14 ページの「保温について」を参照してください。



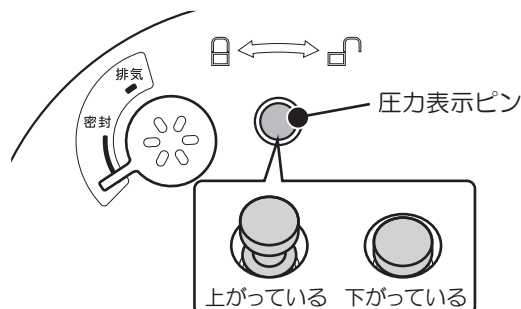
7 調理後、を押して電源プラグを抜き、圧力表示ピンが下がるまで待つ

※ 圧力表示ピンが下がるまでの時間(減圧時間)の目安は、5～20分です。

※ 調理内容によって、減圧時間は異なります。



※ 調理後も内部の圧力は残っています。
圧力表示ピンが下がるのを待ってから、ふたを開けてください。

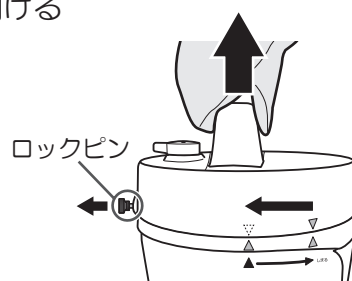


8 圧力表示ピンが下がっていることを確認してから、ふたを開ける

① 調理後にふたを開ける場合は、必ずミトンをはめてください。

② ロックピンを引っ張りながら、図の方向に本体側面の「▲」まで回します。

※ ふたの高温部(ロックピンや圧力切替弁、圧力表示ピン、内ふたなど)や、調理物から出てくる蒸気に素手で触れないように、ミトンを使用してください。



※ ふたを開ける際は、少し回して、ふたのすき間から蒸気が出てこないことを確認してください。

※ ふたを開ける際、重く感じたら内部の圧力が下がっていない可能性があります。少し時間を置いてから開けてください。

※ 内部の圧力が残っている状態で、絶対にふたを無理に開けないでください。少しでも圧力が残っていると、ふたが飛んだり、高温の蒸気や調理物が噴出したりして、けが、やけどの原因になります。

保温について

調理後は、自動的に保温に切り替わり、各メニューで設定された保温時間が経過するとスタンバイモードになります。保温中は、保温開始からの経過時間がディスプレイに表示されます。

※ お好みモードは、保温になりません。加圧調理後、保温に切り替わらずスタンバイモードになります。

例) 保温開始から5分経過した場合



⇒ スロークッカーモードの保温時間は、6時間です。その他の各メニューの保温時間については、5ページの「調理時間の目安」を参照してください。

保温を終了するときは、切/保温ボタンを押します。

スタンバイモードから保温に切り替えるときは、切/保温ボタンを押します。スタンバイモードから保温に切り替えた場合の保温時間は24時間です。

※ 保温時間の設定はできません。



※ 長時間の保温は、においや変色・腐敗の原因になります。

入タイマー（予約炊飯）について

白米・玄米は、予約した時間になると自動的に運転が開始する「入タイマー（予約炊飯）」を設定できます。白米・玄米の調理方法について、詳細は付属のレシピブックをご覧ください。



※ 白米、玄米以外の調理には、入タイマー（予約炊飯）は使用しないでください。室温や食材の種類によっては、腐敗やにおいの原因となります。

1 材料、内なべを準備し、「白米」または「玄米」のメニュー・加圧時間を選ぶ

⇒ 詳細については、12～13ページの「使いかた（手順1～手順5）」を参照してください。

2 を長押しする

メニューボタン上のランプが点灯し、ディスプレイに「00:00」と表示されます。



メニュー
入タイマー
(長押)

3 を押して、入タイマー時間（運転を開始するまでの時間）を設定する



：押すごとに10分ずつ進みます。



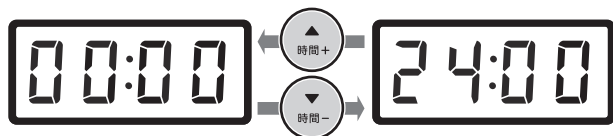
：押すごとに10分ずつ戻ります。

ボタンを長押しすると早送り・早戻しできます。

最大24時間後までの時間を設定できます。



入タイマー時間が「00:00」のときに、さらに時間-（▼）ボタンを押すと、入タイマー時間は「24:00」になり、入タイマー時間が「24:00」のときに、さらに時間+（▲）ボタンを押すと、入タイマー時間は「00:00」になります。



※ 入タイマー時間が「00:00」のまま約20秒間なにも操作しないと、調理がスタートします。再度、操作をやり直すには、切 / 保温ボタンを押して調理を取り消してください。

4 を押して、スタートする

入タイマー（予約炊飯）の運転が開始されて、設定した入タイマー時間が経過すると調理が始まります。

お好みモードについて



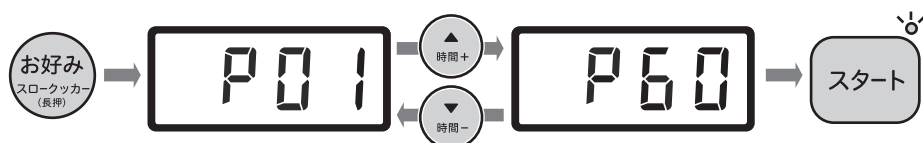
※ お好みモードで加圧調理を行う際は、12～13ページの「使いかた（手順1～手順4）」に従ってください。また、注意事項をお守りください。

「お好みモード」では、加圧時間を1分単位で最大60分まで設定できます。お好みモードでの調理方法について、詳細は付属のレシピブックをご覧ください。

お好みモードを使用する場合は、お好みボタンを押し、時間+（▲）ボタンや時間-（▼）ボタンを押して加圧時間を調節します。

設定されている時間は液晶ディスプレイで確認できます。

スタートボタンを押すと、調理が開始されます。

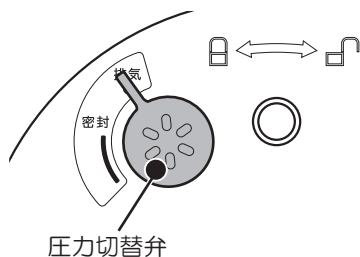


スロークッカーモードについて

「スロークッカーモード」では、加圧せずに加熱調理を行います。加熱時間は1時間単位で最大24時間まで設定できます。スロークッカーモードでの調理方法について、詳細は付属のレシピブックをご覧ください。

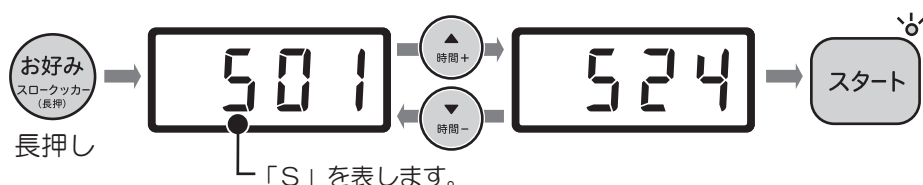
材料を入れた内なべを本体にセットし、ふたを閉めたら、圧力切替弁を「排気」の位置に合わせてください。

使いかた

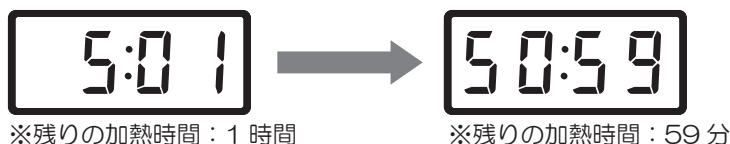


スロークッカーモードを使用する場合は、お好みボタンを長押しします。「S06」（6時間）と表示されますので、時間+（▲）ボタンや時間-（▼）ボタンを押して加熱時間を調節します。設定されている時間は液晶ディスプレイで確認できます。

スタートボタンを押すと、調理が開始されます。



調理中、残りの加熱時間が1時間以下になると、時間の表示が分単位に変わります。



スロークッカーモードの保温時間は6時間です。

やむを得ず急いでふたを開けたいときは

急いでいる場合など、圧力表示ピンが自然に下がるのを待てない場合は、以下の方法で蒸気を抜いて減圧してください。



※ 加圧調理中や、加圧調理終了直後の減圧は絶対にしないでください。

※ 蒸気は高温のため、取り扱いには十分注意してください。

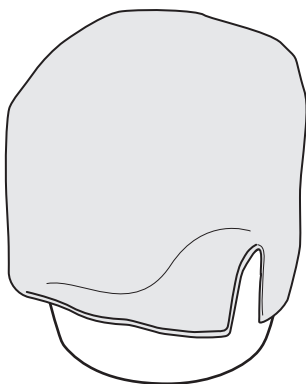
※ 周囲に人やペットがいないことを必ず確認してください。

① 加圧調理が終了した後（ピッピッピッピッピッと音がしてから）、を押して5分以上待ちます。

② 圧力切替弁を含むふたの上に、ぬれふきんを厚めにかけます。

※ 勢いよく蒸気が出て危険なので、必ず厚めのぬれふきんを使用してください。

※ ふた全体をおおうように、ぬれふきんをかけてください。

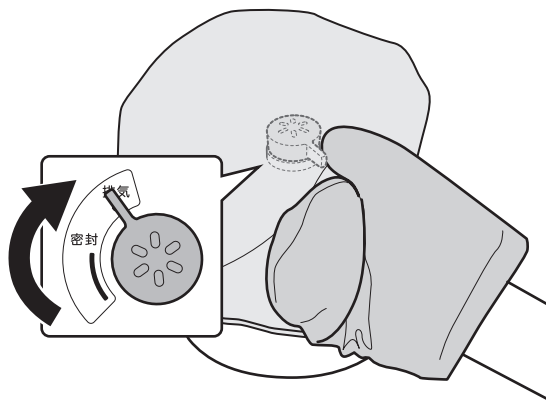


※ ぬれたふきんに調理したものがかかるおそれがあります。

③ ミトンをはめて、ぬれふきんの上から、圧力切替弁を「排気」の位置にゆっくり動かします。

※ 圧力切替弁のつまみの部分を、ミトンの先で押して動かします。

圧力切替弁の真上から蒸気が吹き出すため、必ずつまみの部分を押ししてください。圧力切替弁の真上には触れないでください。



※ 圧力切替弁から蒸気が出はじめたら、すぐに手をはなしてください。排出される蒸気に注意してください。

※ おかゆなど水分が多い料理の場合、調理したものが圧力表示ピンや圧力切替弁から噴出する場合があります。

④ 蒸気が出なくなったらぬれふきんを取り、圧力表示ピンが下がっていることを確認してからふたを開けます。

※ ふたや圧力切替弁、ぬれふきんが熱くなっているため、やけどに注意してください。



※ 高温の蒸気が出てきますので、ぬれふきんとミトンを必ず使用してください。

※ 内ふたや調理物が熱くなっていますので、ふたを開ける際はやけどに注意してください。

お手入れ



- ※ 内なべや内ふた、パッキンなどに食品かすなどの異物を付けたままにしたり、圧力切替弁や圧力表示ピン、ノズルに異物が詰まっていると、けがややけど、故障の原因となりますので、使用後はしっかりとお手入れをしてください。
- ※ お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて本体を冷まし、各パーツを取りはずしてから行ってください。調理後は、たまった煮汁が内ふたから出てくる場合がありますので、注意してください。
- ※ 本体を丸洗いしたり、水にひたしたりしないでください。また、本体や操作パネルに水をかけたりしないでください。感電・ショート・火災・故障の原因になります。
- ※ シンナー・ベンジン・研磨剤入り洗剤・みがき粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。表面に傷が付く原因になります。

お手入れする

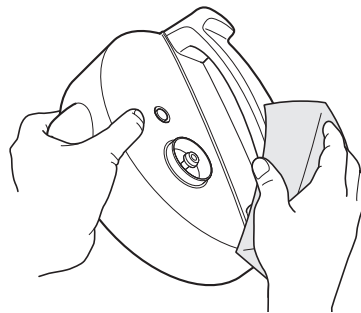
本体

やわらかいふきんで拭きます。
汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに台所用中性洗剤を含ませて拭き取ってください。



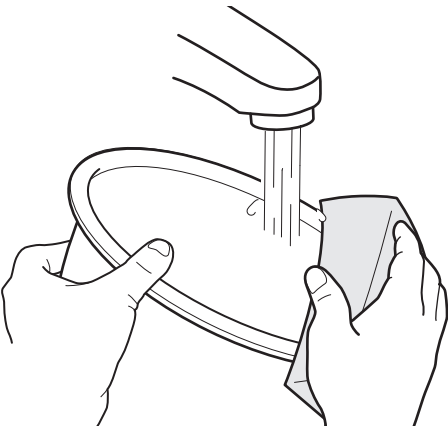
ふた本体

中性洗剤をつけたスポンジで全体を洗い、水で流します。



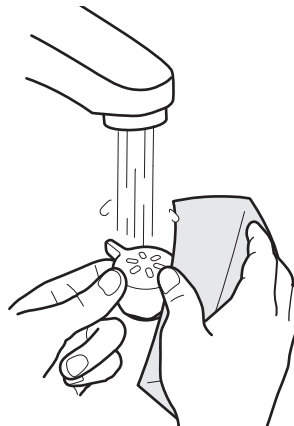
内なべ

中性洗剤をつけたスポンジで洗い、水で流します。
スポンジはやわらかいものを使用してください。



圧力切替弁

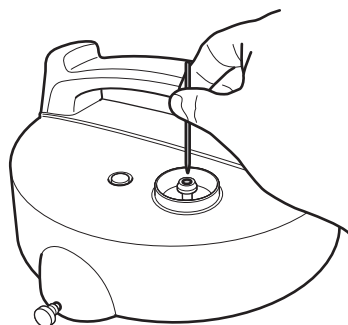
ふたから取りはずし、中性洗剤をつけたスポンジでよく洗い、水で流します。



圧力表示ピン / ノズル

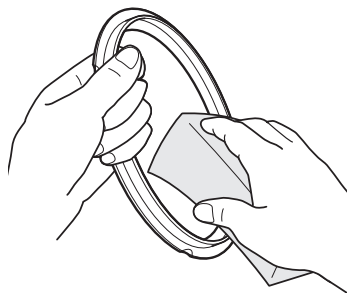
水を流し、食品かすなどの異物が詰まっていないか確認してください。

- ※ ふたの内側に水をためて、圧力表示ピンとノズルから水が出てくることを確認してください。圧力表示ピンは、ふたの内側からつまんで上下に動かし、水が出てくることを確認してください。
- 異物がある場合は、つまようじなどで除去してください。



パッキン

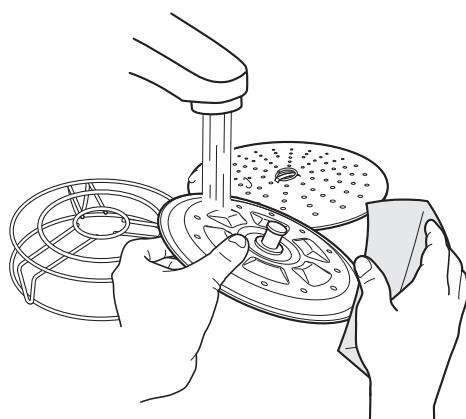
パッキンを内ふたから取りはずし、中性洗剤をつけたスポンジで洗い、水で流します。



内ふた・付属品

中性洗剤とスポンジで洗い、乾いた布で拭いてください。

- ※ 強い力を加えたり、たわし、研磨剤入りの洗剤などを使用しないでください。傷や破損の原因となります。
- ※ 電子レンジ・オーブン・オーブンレンジ・食器乾燥機・食器洗い乾燥機では使用しないでください。



お手入れ

長期間使用しない場合

各部のお手入れ後、よく乾かしてから、お買い上げ時のケースに入れるか、ポリ袋に包むなどして、湿気のない場所に保管してください。

- ※ 付属品の紛失にご注意ください。



故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、ご確認ください。

こんなとき	ご確認くださいこと	直しかた
煮えていない。 煮え過ぎ。 水っぽい。 焦げる。	水量、設定時間を間違えていませんか。	付属のレシピブックを参照し、正しい水量、設定時間で調理してください。
	本体内部または内なべの外側に食品かすなど、異物が付着していませんか。	異物を取り除いてください。
	調味料が溶けずに残っていませんか。	調味料は、あらかじめ混ぜ合わせてください。
	材料が大きすぎませんか。	お好みモードで加圧時間を調整して、材料が煮えるまで加圧調理してください。
	ふたは確実に閉まっていますか。	ふたを確実に閉めてください。
ふたのすき間や圧力切替弁から蒸気や汁がもれる。	パッキンは正しく取り付けられていますか。	パッキンを正しく取り付けてください。
	ふたやパッキン、圧力切替弁に食品かすなどの異物が付着していませんか。	異物を取り除いてください。
	本体・内なべ・ふたにへこみや傷、パッキンや圧力切替弁に傷はありませんか。	切 / 保温ボタンを押し、電源プラグを抜いて直ちに使用を中止して、販売店またはサポートセンターへご連絡ください。
時間表示が変化しない。	基本メニューやお好みモードで、加圧調理をしていませんか。	加圧状態に達するまでは、時間表示が変化しません。
ふたのすき間や圧力切替弁から蒸気が噴出する。	ふたは確実に閉まっていますか。	ふたを確実に閉めてください。
	材料の量または水量が多すぎませんか。	内なべの「調理 MAX」の線以上に食材を入れて使わないでください。豆腐や麺類など調理によって分量が増えるものは、内なべの「豆類 MAX」の線以上に入れないでください。
	圧力切替弁を外していませんか。	大変危険なので、使用中に、絶対に圧力切替弁を外さないでください。
ふたのすき間や圧力切替弁から蒸気が強く噴出し続ける。 (5分以上)	ふたを正しく組み立ててセットしていますか。 加圧調理中、圧力切替弁を「密封」の位置にしていますか。	吹き出す蒸気に注意して、切 / 保温ボタンを押し、電源プラグを抜いて直ちに使用を中止してください。冷めたら圧力切替弁・ふたを正しくセットしてください。正しくセットしても直らない場合は、販売店またはサポートセンターへご連絡ください。
エラーメッセージ (E1、E2、E4) が表示される。	故障の可能性があります。	切 / 保温ボタンを押し、電源プラグを抜いて直ちに使用を中止して、販売店またはサポートセンターへご連絡ください。
エラーメッセージ (E3) が表示される。	異常加熱の場合に表示されるエラーメッセージです。	切 / 保温ボタンを押し、電源プラグを抜いて5分ほど待ってから、再度操作してください。正常に動作しない場合は、販売店またはサポートセンターへご連絡ください。
使用中に停電した場合	瞬時の停電の場合は、復電後、運転が再開します。加圧調理中に停電した場合、圧力表示ピンが上がっている間は、ふたを無理に開けたり、本体を移動させたりしないでください。蒸気や調理物が噴出し、けが、やけどの原因になります。	



※ ふたを開けて中身を確認したり、調理をやり直したりする場合は、切 / 保温ボタンを押して調理を中止し、電源プラグを抜いてください。圧力表示ピンが下がっていることを確認してから、ふたを開けてください。

仕様

品名（型番）	マイコン電気圧力鍋 クックマイスター（SPC-111）
サイズ（約）	幅 21.9 × 奥行 23.3 × 高さ 26.2cm
電圧	AC100V
周波数	50/60Hz
消費電力	700W
調理容量	1.3L
呼び容量 （満水容量）	2L

使用最高圧力	60kPa ゲージ圧
重量（約）	2.7kg
電源コード 長さ（約）	1.2m
温度ヒューズ	142℃
安全装置	温度過昇防止装置
付属品	落しふた、蒸し台、レシピブック
生産国	中国



この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

PSCマーク・SGマーク取得



PSC マーク

「消費生活用製品安全法」の家庭用の圧力なべ及び圧力がまの安全基準に適合していることを示します。



対人賠償責任保険付
製品安全協会

SG マーク

SG マーク制度は、家庭用の圧力なべ又は圧力がまの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。

部品・消耗品

劣化・消耗したり、紛失してしまった時は、お買い上げの販売店でお買い求めください。
または、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

品名	部品コード
落しふた	SPC-111-OB
蒸し台	SPC-101-MD
パッキン	SPC-101-PC
内ふた	SPC-101-UF

品名	部品コード
内なべ	SPC-101-UN
圧力切替弁	SPC-101-AB
電源コード	SPC-101-DC
レシピブック	SPC-101-RB

長年ご使用の電気圧力鍋の 点検を！

- ※ 定期的に「安全上のご注意」や「使いかた」を確認してお使いください。
誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
- ※ 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

- 株式会社オークセール（以下「弊社」）は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

アフターサービス

保証書（裏表紙）

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

- 保証期間中（お買い上げ日から 1 年未満）の修理
保証書の規定により、無料で修理いたします。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。
- 保証期間が過ぎている（お買い上げ日から 1 年以上）修理
修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

保証期間

お買い上げ日から 1 年間となります。

補修料金のしくみ

補修料金は技術料（故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金）と部品代（修理に使用した部品の代金）などで構成されています。

補修用性能部品の最低保有期間

この電気圧力鍋の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。
その商品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といいます。

補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。
お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

お客様相談窓口

アフターサービスについてご不明な場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

＜サポートセンター＞

TEL: 03-5413-6125
FAX: 03-5413-6128
E-mail での問い合わせ: info@aucsale.com
受付時間: 10:00～17:00
(土、日、祝祭日および当社指定休業日を除く)

＜修理センター＞

〒343-0032 埼玉県越谷市袋山 648-5
株式会社オークセール
サポートグループ返品・修理センター

サポートセンターからのお願い

- ・ 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
- ・ 時間帯によっては電話が混み合い、つながりにくい場合がございます。
- ・ サポートセンターおよび修理センターの電話番号／FAX 番号、住所は予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

siroca の最新情報はこちらでチェック！



siroca 公式
Facebook(フェイスブック)
<http://www.facebook.com/siroca.jp>



チーム siroca のブログ
<http://ameblo.jp/siroca/>



AucSale サポートストア
<http://aucsale.jp/>